

科目分類	栄養教諭資格関連科目			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
14011	4	前期・後期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	栄養教育実習事前・事後指導 Guidance to Teaching Practicum (Nutrition Teachers)				
担当教員名	◎豊田 英敏/三舟 隆之				
授業の概要及び到達目標					
<p>〔概要〕</p> <p>「栄養教育実習」は、大学で学修した栄養教育に関する諸理論を、学校現場における教育実践を通じて主体的に再構成し、教育の理論と実践が不可分のものであることを実体験すると同時に、教育実践家として今後の課題を発見する場である。</p> <p>〔到達目標〕</p> <p>「事前指導」では、教育実習を実りある体験とするために事前準備・事前学習・心の準備等を行うことにその狙いがある。</p> <p>「事後指導」では、実習体験を基に、実習体験学習から振り返り教育実践家としての新たな学びのための課題を整理する学修である。</p>					
準備学習等					
<p style="text-align: right;">事前・事後学修時間</p> <p>1. 「栄養教育実習の手引き」および「教育実習の記録」をよく読んで、教育実習がどのようなものであるか、理解しておくこと。 2時間</p> <p>2. 事前に実習校と打ち合わせをし、実習校の概要の把握、教育方針、学校の雰囲気などを理解しておくこと。研究授業についてそのテーマと授業とねらい、評価などを指導教諭とよく打ち合わせておくこと。またそのための準備を怠らないこと。 3時間</p> <p>3. 教育実習終了後、事後指導のために研究授業や教育実習での反省点などを整理してまとめておくこと。 2時間</p> <p>4. 事後指導では、各自 30 分(質問時間を含む)で教育実習の報告・反省会を行う。 2時間</p>					
成績評価の方法	研究授業を行うに当たって、準備した研究内容についてのレポート 50%と、報告会での発表内容 50%で評価を行う。				
テキスト	特になし				
参考図書	田中信監修『栄養教諭養成における実習の手引き』（東山書房）				

備 考	オフィスアワーは desknet' s の一覧を確認すること。	
授 業 計 画		
	授業テーマ	主担当
事前指導	第 1 回：教育実習の目的と意義 教育実習の心得を基に、教育実習の目的と意義について理解を深める	豊 田
	第 2 回：実習校との打ち合わせて必要なこと、教育実習の心構えと諸注意教育実習校との事前打ち合わせにおいて、留意すべき点について確認手順の確認をする。	豊 田
	第 3 回：指導案作成の意義と実践 教育実習校において、実施する研究授業の準備のために、あらかじめ指導案を作成する。	豊 田
	第 4 回：模擬授業の実践 作成した指導案を基に、模擬授業を実践し協議を通して、指導の充実を図れるようにする。	豊 田
事後指導	第 5～8 回：教育実習の報告と反省の発表 1 人 3 0 分（約 25 分＋質問時間 5 分）で、実習校の概要と実習中や研究授業の報告会を行い、よりよい「食に関する指導」の充実を図るために、栄養教諭の役割の重要性について考察する。	豊田/三舟